

平成 30 年度広島市まちづくり市民交流プラザ運営委員会 第 3 回運営委員会 会議録

日 時 平成 31 年 3 月 1 日(金) 18 時 30 分～20 時 00 分

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)南棟 4 階協議室

出席者 (委 員) 柿本委員長、阿部委員、弘中委員

(プラザ) 谷川館長、中森主任

議事及び会議要旨(以下)

議事 1 平成 30 年度事業進捗状況について

事務局から、平成 30 年度事業進捗状況について報告され、意見が交わされた。

・ 託児を引き受けてくれているこういったグループなのか？

○ ぴよぴよの会という子育て支援の団体から、日程に合わせてメンバーを派遣してくれている。

・ 近年のイベントや行事では、託児サービスがついていることが当たり前になってきている。子育ての支援はこれからもっと重要になってくる。

○ 託児を引き受けてくれる方が夜の時間帯が難しく、昼間のパソコン講座にしかつけていないのが現実であるが、3 月はパソコン講座以外にも託児可能とした講座を予定している。

・ エルネットが 0 件なのは仕方がないことなのか？

○ 昨年度末に閲覧されていた方がいたが、その方以外はほとんど閲覧の希望がない。

情報が 10 年～15 年も前のもので古く、今では通じない内容も多い。作成した文部科学省の HP から既に削除されており、保管しているだけというのが実情である。

・ ホームページを見ている人もけっこう多いようであるが、プラザの講座やイベント、施設の使い方など調べたいときは、サイト内検索ができるようにしてある方が便利である。

○ 現在のプラザのホームページには備わっていないが、確かにあると便利であるので、できるかどうか確認してみる。またスマホでも見やすいページも検討中である。

○ 観光アシスタント講座をはじめ、市民活動団体等を連携した事業では、講座を受講した市民が、そのまま連携団体の活動に参加し、市民活動やボランティア活動のきっかけとなっている。

・ 講座で終わるのではなくアフターフォローもできることは大切であり、市民の生きがい作りともなっているだろう。

・ 生涯学習支援講座の広島城との連携も、参加者が多くてよかったのではないかな。

○ 歴史の講座というのは人気がある。この講座は広島城をはじめとした文化財団が運営する施設と連携して開催する、文化財団の特徴を活かした事業になっており、プラザ単独ではできない内容を、連携施設のノウハウを活用して面白い講座を開催することができる。

今後も広島城以外の施設とも連携しながら開催していきたい。

・ 企業等社会貢献活動研究会のカレンダー贈与と駅伝応援清掃ボランティアは良い活動である。清掃ボランティアの参加者はこういった世代なのか。

○ どちらも 10 年以上続けている事業だが、年々盛り上がっている。

ボランティアの参加者は、研究会に参加している企業の社員の方やその家族、友人などであり、子どもから高齢者まで幅広い世代で参加してもらっている。

- ・パソコンボランティア講座の参加者の講座終了後はどのようになっているのか。
- 活動としては、偶数月の日曜日に開催しているパソコンサロンのスタッフが主な活動だが、参加者によってはグループに直接参加した人もいたそうである。現在、これからも活動したい人にプラザへの登録をお願いしているが、既に半数が参加を希望している。
- ・まちかどコンサートもいろいろな趣向があり楽しみにしている。

議事2 平成30年度利用状況について(1月末まで)

事務局から、平成30年度利用状況について報告があり、意見が交わされた。

- 7月の豪雨災害でかなり減少してしまっていたが、利用者数、稼働率ともに徐々に回復している。
- ・回復傾向になり良かった。まだまだ各地に影響が残っているが、来年度はあのような災害がないことを願っている。
 - ・利用状況の表について、グラフで表現してあるとわかりやすい。
- グラフにはすぐできるので、今後はグラフにより視覚化して見てもらうように工夫する。

議事3 平成31年度事業計画について

事務局から、平成31年度事業計画について説明があり、意見が交わされた。

- 今の指定管理期間は来年度までであり、その期間の中で大きく変わる事業というのではない。まだ計画の段階であるため、ほぼ今年度と同じ構成になっている。
- ・リーススペースの雰囲気、以前よりすっきりしてよくなったという話を聞いた
 - ・リーススペースには予算が付いてないが、予算があればもっと使いやすくなるのではないか。
- リーススペースの利用促進に関して予算は付いていないが、リーススペースの作業室での印刷サービス事業などに予算が付いており、そちらを使って市民に役立つように運営している。

議事4 まちづくり市民交流フェスタの報告について

事務局から、まちづくり市民交流プラザのアンケート結果などについて説明があり、意見が交わされた。

- やはり、来館者が少なかったという意見が多かった。7月豪雨の影響も大きい、来館者増のための方策も考えていかなければならない。
- ・広報の工夫が重要と思われるが、アンケート結果を見ると、チラシを見て来館された方が意外と多い。チラシの作り方や配布の仕方などに工夫が必要。
 - ・フェスタの参加団体や内容が決まってからチラシを配布するのではなく、日程が決まった時点で前年度の写真などを使って告知のチラシを作成し、講座などで配布すると良いかもしれない。
 - ・実行委員会の回数が少ないので、事前に盛り上げるためのアイデアを聞き、実行委員会で検討するような流れにするとよいのではないか。
- できそうなことについては、今後話し合いながら実行していくことにする。
- ・フェスタ本番についても、体験コーナー、あそびのコーナーなどを1箇所にとまとめて運営し、体験し、会場内を回ってきて、ちょっと戻って休めるような場所として設置できたら良い。

- ・学校との連携は定着してきた。
 - ・せっかくなので平和資料館との連携も図れたらよいのではないか。
- フェスタに参加というのは難しいと思うが、フェスタで資料館のパンフレットなど配布して、フェスタ来場者が帰りに資料館に寄ってみるという流れを作れるとよいかもしれない。
- ・袋町小学校の物語を紙芝居にして上演などできると良いかもしれない。フェスタのときだけでなく、観光アシスタントの皆さんが案内するときに上演すると良いと思う。
- 観光アシスタント協会にお伝えしておく。一緒にできるようなら考えていきたい。
- フェスタ実行委員会の回数も、少ないという意見と多いという意見がある。実際参加団体の交流も含めてやっていこうと思うと、2回では情報伝達で精一杯であるため、回数をもう一度増やすことも考えていきたい。

【次回の運営委員会】

平成31年6月の予定で、また新年度になってから調整するのでご協力をお願いします。

閉会